

平成27年度 能美市立湯野小学校 学校評価

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担当	【評価指標】 ＜成果指標＞＜努力指標＞ ＜満足度指標＞	【評価の根拠】 達成度判断基準	取組状況	評価	学校関係者評価者 による意見	今後の改善策
1	組織的な学校運営	教務主任	【成果指標】【努力指標】定期的に主任会議・分掌部会が開催され、協力・協働の組織的運営がなされている。	・主任会議及び分掌部会が定期的開催されているか。 ・教職員が、主任を中心に組織的に学校経営に参画していると感じているか。	・参画意識を持って学校経営ビジョンの具現化に努めたと感じた教職員は100%であった。今後はさらに主任会議、分掌部会を密に開催し、より協力・協働の組織的運営をめざす。	B	・職員会議を初めとして、会議は組織にとって大切なものである。十分に行って、情報交換を密にすべきである。 ・いじめ問題については、今後とも迅速な対応に努めてもらいたい。	・職員会議、主任会議、分掌部会を必要十分な回数行い、組織の活性化に努める。
		生徒指導主事	【努力指標】いじめアンケートと児童理解の会を毎月実施し、共通理解を図りながら早期に組織的な対応がなされている。 【成果指標】【満足度指標】児童に思いやりの心が育ち、いじめのないクラスだと感じている。	・教職員がいじめや問題行動に迅速かつ組織的に対応しているか。 ・児童が、自分たちのクラスが思いやりがありいじめのないクラスだと感じているか。	・いじめや問題が生じたときは組織的に対応を行い、可能な限り早期解決に努めた。その結果、81%の児童がいじめのないクラスと感じ、89%の保護者が教師はいじめのないクラス作りに努めていると回答した。	A		
2	確かな学力の向上	研究主任	【努力指標】全員が年1回以上授業を公開し、授業改善に意欲的に取り組んでいる。 【満足度指標】児童が、先生の授業がわかりやすいと実感し、意欲的に授業に参加している。	・職員が、授業力・人間力を向上させるため、意欲的に学校研究・校内研修に参加しているか。 ・児童が授業がわかりやすいと実感し、授業に意欲的に参加しているか。	・外部講師を招聘したり公開授業を行ったりして、研修の充実を図ってきた。93%の児童が授業はわかりやすいと感じている。今後、さらに児童主体の授業づくりをめざし、児童の学力向上をめざす。	B	・学力の現状分析から、学校組織のどこに原因があるのかを明確にし、根本的な対策を講じるべきである。	・教師の授業改善を具体的かつ組織的に進める体制を強化し、密度の濃い児童主体の授業を継続的に行う。 ・年度途中における検証を徹底し、効果の薄い取組は廃し、確実に力を伸ばすための手立てを迅速に実行する。 ・6年間を見通した計画的かつ質的転換を含んだ学力対策を行っていく。
		研究主任	【成果指標】国や県の学力調査で県平均と比べて一定の成果をあげている。	・国や県の学力調査で県の通過率を上回っているか。	・学力向上プランを作成し、全校で実践を図ったが、厳しい結果となった。手立てに対する教職員の認識が十分ではなかったと感じる。この結果を真摯に受け止め、危機感をもって課題の改善に努めていく。	C		
3	豊かな心と人間関係力の育成	生徒指導主事	【成果指標】クラス会議に主体的に参加し、学級の課題を解決しようとしている。 ・学級生活満足群を増やし、要支援群に対する個別指導を充実させる。	・クラス会議に主体的に参加する児童の割合が高いか。 ・学級生活満足群の児童の割合が高いか。	・およそ9割の児童が主体的にクラス会議に取り組んだと回答し、1学期に比べ2学期は学級生活満足群に属する児童が増えた。	A	・知徳体バランスのとれた教育を行うことは基本である。今後も学力向上だけでなく、心の教育を継続してもらいたい。	・児童を図書に親しませる工夫が必要である。対策として、図書館の電子化を本校内だけでも行っていい。蔵書管理を合理的に行い、児童のニーズや現状の把握を迅速に行い、読書生活や教科学習のレベルを確実に上げられることを数年かけて継続していく。
		道徳教育推進教師	【努力指標】全学級担任が、道徳の授業改善のため創意工夫し、意欲的に取り組み、道徳の授業を充実させている。	・道徳の授業に意欲的に取り組む学級担任が増加しているか。	・100%の教員が道徳授業に意欲的に取組を行い、道徳の授業改善に努めた。その結果、ねらいをより明確にした授業実践を行うことができた。	A	・読書は非常に大切なことである。図書館の運営の仕方などにより、行きたくなる図書館にしてほしい。また、読み聞かせや良書の推奨を積極的に進めてもらいたい。	
		司書教諭	【成果指標】児童が読書に意欲的に取り組み、学校図書館を積極的に利用している。	・学校図書館の貸し出し冊数が増加しているか。	・読書月間を中心に児童が意欲的に取り組める環境づくりに努めたが、前年度とほぼ同数の貸し出し冊数であった。取組の見直しを行い、さらなる読書の習慣化に努めていく。	C		
4	健やかな体の向上	保健主事	【成果指標】毎時間の体育の準備運動に柔軟体操を取り入れ、柔軟性を向上させている。	・5月の長座体前屈計測値をもとに各学年の目標値を設定し、年度内に目標値を超える。	・全校で柔軟体操を統一して取り組んだ結果、計測対象の2/3が目標値を上回る結果となった。今後も継続して取り組んでいく。	B	・児童の睡眠時間を初めとする生活の状況を調査し、現状に応じた取組を行ってみたい。	・生活状況アンケート調査を適宜行い、実態に合わせてひとつひとつ丁寧にいく。 ・給食のあとの歯磨きを検討していく。
		保健主事	【成果指標】虫歯治療率が前年度より向上している。	・年度内に虫歯治療率85%を達成する。	・治療率は83%(105人/127人)であった。目標値には届かなかったものの前年度を大きく上回ることができた。	B	・虫歯にならないための対策として、学校での歯磨きについて検討してもらいたい。	
5	家庭・地域との連携	研究主任	【成果指標】学年に応じて定める目標時間以上、毎日家庭学習に取り組んでいる。	・毎日の学習時間が、学年目標に達していると答える保護者・児童の割合が増加しているか。	・8割の児童ができていてと感じているが、その割合はほぼ横ばいであった。よりきめ細やかな個人指導を行っていく。	B	・家庭生活についての調査をもとに、家庭学習の向上を図る取組が必要である。	・家庭学習については、生活状況アンケート調査を行い、その分析による対策を打ち出していく。
		生徒指導主事	【成果指標】自らすすんで元気よくあいさつする児童を育てる。	・自らすすんで元気よくあいさつする児童の割合が増加しているか。	・重点項目と捉え、9月末から全校であいさつ運動に取り組んだ。その結果、進んであいさつをしていると回答した児童は8割以上となった。	B	・あいさつについては、なかなか難しい問題だが、ようやく効果が出てきたようなので、ますます広がるように対策を講じてもらいたい。	・あいさつは数年来の本校の課題であった。今年度の良好な状況からさらに推進していく。
		研究主任・道徳教育推進教師	【努力指標】全学級で、道徳の時間や総合的な学習の時間において、地域教材の活用と保護者等のゲストティーチャーの活用に取り組む、その充実を図る。	・全学級において、道徳の時間や総合的な学習の時間において、地域教材や保護者等のゲストティーチャーの活用に取り組む成果をあげたか。	・保護者参加型の授業や地域の人をゲストティーチャーとして招いた授業、保護者・地域の人との意見交流会、道徳講演会などを取り入れることで、保護者・地域の方々の道徳への関心が高まった。	A	・学校の授業等にとって必要と思われる人材があれば、これからも協力する。	・地域との協力については、図書ボランティアの増員、ラジオ体操指導における連携等について計画していく。